



# でみず がっく 出水学区



## 学区の概要

出水学区は、北は下長者町通、南は丸太町通、(丸太町通の南部、左馬松、南伊勢屋、聚楽、七主税町を含む) 東は松屋町通、西は千本通に囲まれた地区となっています。

平安京にあって当地域は大内裏の中心に位置しました。すなわち天皇の居所である内裏をはじめ中務省、主税寮、陰陽寮、西院、大膳職、雅院(東西)左兵衛府職などがあり、加えて内裏に奉仕する大小さまざまな諸役所がありました。

しかし、この内裏も度重なる火災に見舞われ、以後再建されることはありませんでした。大内裏跡は内野と呼ばれ、多くは畑地として開発され農家が点在する近郊農村的な相貌を見せることとなりました。のちに南部地域が京都所司代下屋敷となり、当域の東地域では町屋が形成されましたが、一方、千本通に至る西地域では野畠として残り、聚楽ごぼうや聚楽かぶらの名品を産出しました。この一部の洛中農村的景観は近世後期まで残りました。

市街化の進んだ地域では町組が結成され聚楽組が結成されましたが、明治2年「上京十四番組」同5年「第十八区」同12年「第十八組」さらに同25年に「第十四学区」となり現在に至っています。出水の地名は諸説色々ありますが、毎年梅雨のころ、井戸の水があふれ出る日を持って梅雨が終わるといわれ「出水」という地名になったという説もあります。

明治末期には、市電が走り、昭和3年には「大礼記念京都大博覧会」が開催され、跡地にJOOK 京都放送局と二条児童公園が設置されました。

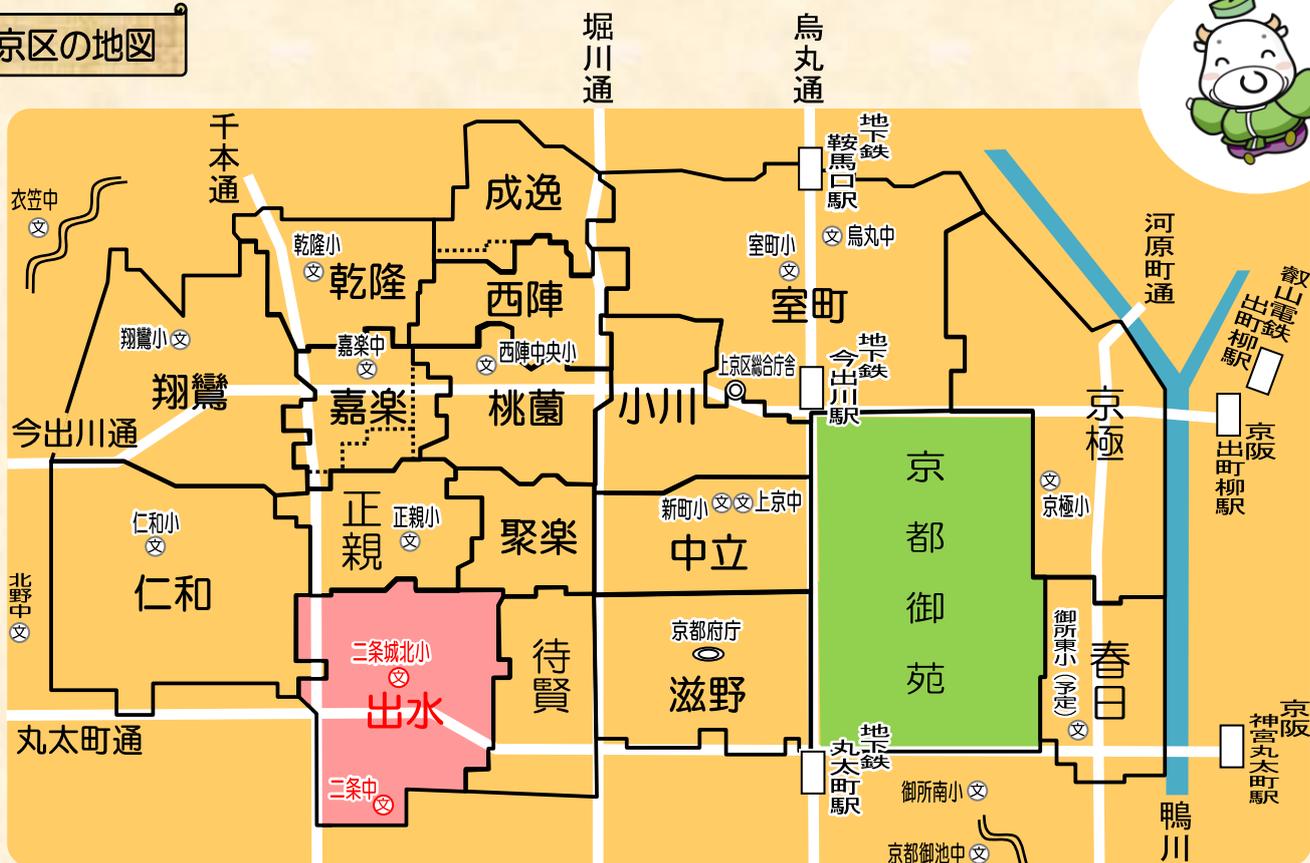


山中油店の店頭に表示されている  
爆弾の破片

このような歴史の中で忘れられないことの一つに、昭和20年6月2日、終戦まじかに当地域が爆撃されたことがありました。出水、待賢、正親学区の境界から南に出水地域へ数個の爆弾が投下され、死傷者109名、全損壊家屋292戸という大きな被害がありました。

戦後の非戦災都市京都という呼称の中にあつて、空爆被害地としての記録を残すため、学区内の辰巳公園内に空爆記念碑が建立されています。

## 上京区の地図



## 学区を代表する団体

出水住民福祉連合協議会

## 学区の主な行事

独居老人昼食会, 和楽会総会, ソフトバレー大会, 教育後援会募金,  
住民福祉連合協議会懇親会, 市民スクール(8~10回), 一声パレード,  
ペタンク大会, 集団検診・献血, プール一般開放, 盆踊り大会,  
サマーフェスティバル, 三校合同演奏会, 歩こう会, 敬老会, 区民運動会,  
グラウンドゴルフ大会, 親子大会, ソフトボール大会, 交通安全フェスティバル,  
総合防災訓練, 新春顔合わせ, キックベースボール大会, ボウリング大会

(発行) 上京区役所 地域力推進室 まちづくり推進担当  
電話 441-5040